

児童福祉施設職員地域研修

この研修は、子どもの虹情報研修センターで行う指導者研修の前段階の基礎研修として位置づけられたものです。地域ごとに研修参加者を募り、センターから職員が出向く形で研修を行います。研修実施希望地域の代表者とセンターとで、日程、講義内容、講師等を話し合いながら決めていきます。

1 目的

生育歴のとらえ方、行動観察の視点、記録の取り方・まとめ方、ケースカンファレンスのあり方などの基本的な事項を習得するとともに、子どもと家族の適切な理解と援助のあり方を学ぶ。併せて、地域における施設間ネットワークの構築、活性化を図る。

2 テーマ

「被虐待児の理解と対応」
「カンファレンスのあり方」

3 期日

研修は1日間とし、日程については地域代表者と協議の上決定する。

4 対象

児童福祉施設等で子どもや家族の援助に携わる職員（複数機関で概ね30名以上とする）

5 内容

| 時間 | 科目 | 講師 | 内容 |
|----------------|---|----------------------------|---|
| 10:00 | 開 会 | | |
| 10:20 12:00 | 【講義】 研修参加者代表とセンターとの協議の上、テーマと講師を選定 | | |
| 13:00 16:30 | 【事例検討】 児童虐待の理解と対応 | 発表：参加者 助言：子どもの虹情報研修センター | 事前課題として施設ごと1つの事例をまとめ、それをもとに事例検討を行う。カンファレンスを通して子どもへの理解を深め、より良い援助のあり方を検討するとともに、情報収集、行動観察の視点、記録の残し方、カンファレンスのあり方等の理解を深める。 |
| 17:00 | 終 了 | | |

6 備考

研修参加者代表が事務局を務め、参加者の募集、会場確保などを行う。
参加費は資料代程度とし、講師謝金等はセンターが負担する。